

OJT-Project Start-up ワークショップ 実施報告

香川県技術士会では、会の活性化と若手の活躍を期待して、新しく OJT-Project [(O)面白いことを(J)自由に(T)楽しく]を始動し、勉強会・研究会を立ち上げるための Start-up ワークショップを行いましたので、ご報告します。

題記ワークショップ（以下、WS と呼ぶ）は、令和 7 年 9 月 6 日（土）午後“まなびCAN”においてプラスワン例会と合同開催で行われ、合計 23 名（グループワーク 21 名、ファシリテーター：加藤、サポーター：岩原）が参加しました。

まず、私からプロジェクトの趣旨として、**西嶋八兵衛研究会**の話をしました。当研究会は H29 年に発足し現在 9 年目ですが、当日 WS の前に常連メンバー 5 名全員（WS にも参加）が集まってランチをしながら 13 回目の会を開催したこと、現在もワイワイガヤガヤ楽しくやっており、これはまさに **OJT**（おもしろいことを自由に楽しく）が理由であること、是非これに続く第二、第三の勉強会・研究会が立ち上がって欲しいことを話しました。

その後、5～6 名/班で 4 班に分かれ、グループ討議を行いました。50 分の間にゼロからテーマを決めることはかなり困難と予想され、大変お手数ではありましたが、事前に参加者全員に**アンケート**を配り、6 項目*でキーワードやコメントを記載して頂きました。そして、事前にグループ分けと全員のアンケート結果を参加者に送付して予習をして頂きました。当日の討議では各自付箋紙に**キーワード**を書いて模造紙に貼り、共通となるものを**グルーピング**して最終的に一つのテーマに取りまとめる方法で進めました。

※①日頃から気になっている事柄 ②技術力向上や技術継承・自分の仕事の延長上の問題 ③地域研究や地域の課題解決の取り組み ④趣味的なもの ⑤イベント的なもの ⑥その他

当日は、予習のお陰もあってスムーズに討議が始まり、話しながらどんどん貼り付けられた付箋紙が増えていく班やしっかり議論をした後付箋紙を貼り付けていく班がありました。最終的には一つにまとまった班が 2 つ、二つまでと四つまでの班が 1 つずつとなり、とても興味深いものが沢山ありました。50 分という短い時間である程度のまとまりまでたどり着いたのはさすが技術士の皆さんだと思った次第です。最後に発表と質疑を行いました。班毎の結果は以下の通りです。

- 1 班：若手が多いため、「**未知との遭遇**」というネーミングのもと、橋など土木インフラ設備・工場・会社巡り等をして知識や視野を広めたい。
- 2 班：「空海」の偉業の拾い出し、テーマパーク、88 箇所巡り等、「香川の深掘り」では地図本“香川のトリセツ”をもとに香川を元気に、「新旧インフラ」では香川の新旧鉄道・古いトンネル巡り・防災道の駅、「ジオ」と讃岐富士に登る の 4 つ、この中から 1 つに絞り込む。
- 3 班：環境を考え、「**海ゴミ（マイクロプラスチック、流木等）を使った工作教室**」を児童館で行う。
- 4 班：「香川の魅力を生かす活動」として、ため池利用、農業、アート、ジオパークなどに関する活動、「技術士の認知活動」として、HP 等情報発信の 2 つ、なお、今回時間的な制約がありメンバーの方のアンケート内容を再度聞いてみたいと言う意見も有り。

また、私と岩原さんが事前に話し合っただけ企画した「**ようこそ先輩倶楽部**」（別紙参照）も併せて披露しました。

今後大切なことは、これで終わりではなく、実際に勉強会・研究会を立ち上げ実行していくことです。テーマが決まったところは具体的な展開に、決まっていないところはテーマの絞り込みに向けて、本 WS の高揚感が残っているこの **1 ヶ月内に何らかのアクション**をして頂ければ幸いです。何か相談事等があればいつでも私まで連絡頂ければと思います。

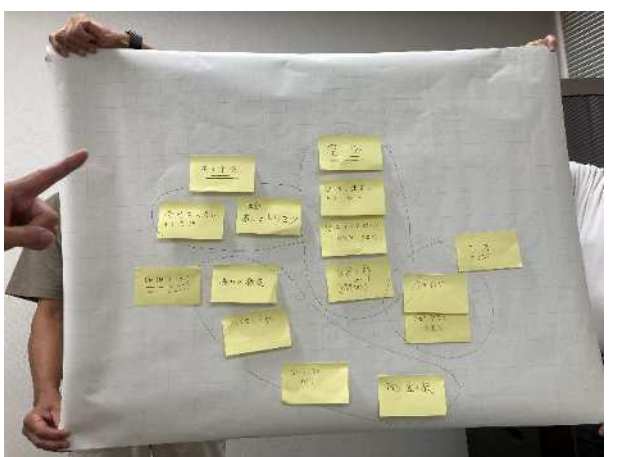
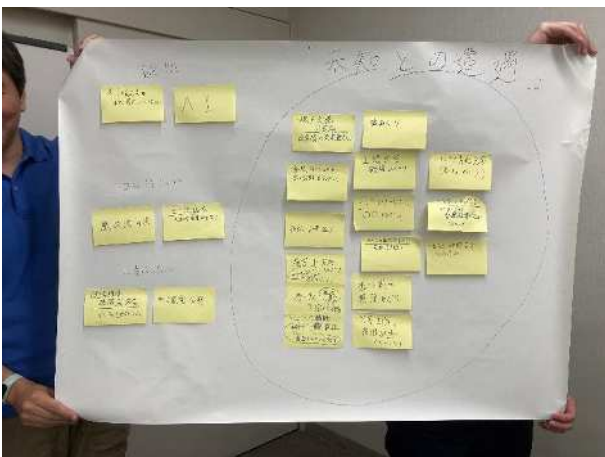
最後に、新しい勉強会・研究会で皆さんが楽しく活動・活躍される事を願っています。

(グループワーク状況)



(1班)

(2班)



(3班)



(4班)

